

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

岡山県西栗倉村
が応援するふるさと名物

美作材の製品群

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!



「百年の森林構想」による「上質な田舎」づくり
みまさかざい

～美作材の高付加価値化を目指して～



岡山県西栗倉村

- ・岡山県英田郡西栗倉村影石2
 - ・西栗倉村役場 産業観光課
- TEL 0868-79-2111



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

平成29年1月20日

応援宣言

岡山県西栗倉村

地域の
プロフィール



西栗倉村は岡山県の北東部、兵庫県及び鳥取県の県境に位置する人口1,500人の山村です。面積57.97km²のうち95%を森林が占めています。また、森林面積の約85%がスギ・ヒノキの人工林となっています。

＜「百年の森林構想」による「上質な田舎」づくり＞

2008年に樹齢百年の美しい森林に囲まれた「上質な田舎」を実現するというビジョンである「百年の森林構想」を着想し、2009年から構想の実現に向けた「百年の森林事業」に取り組んでいます。

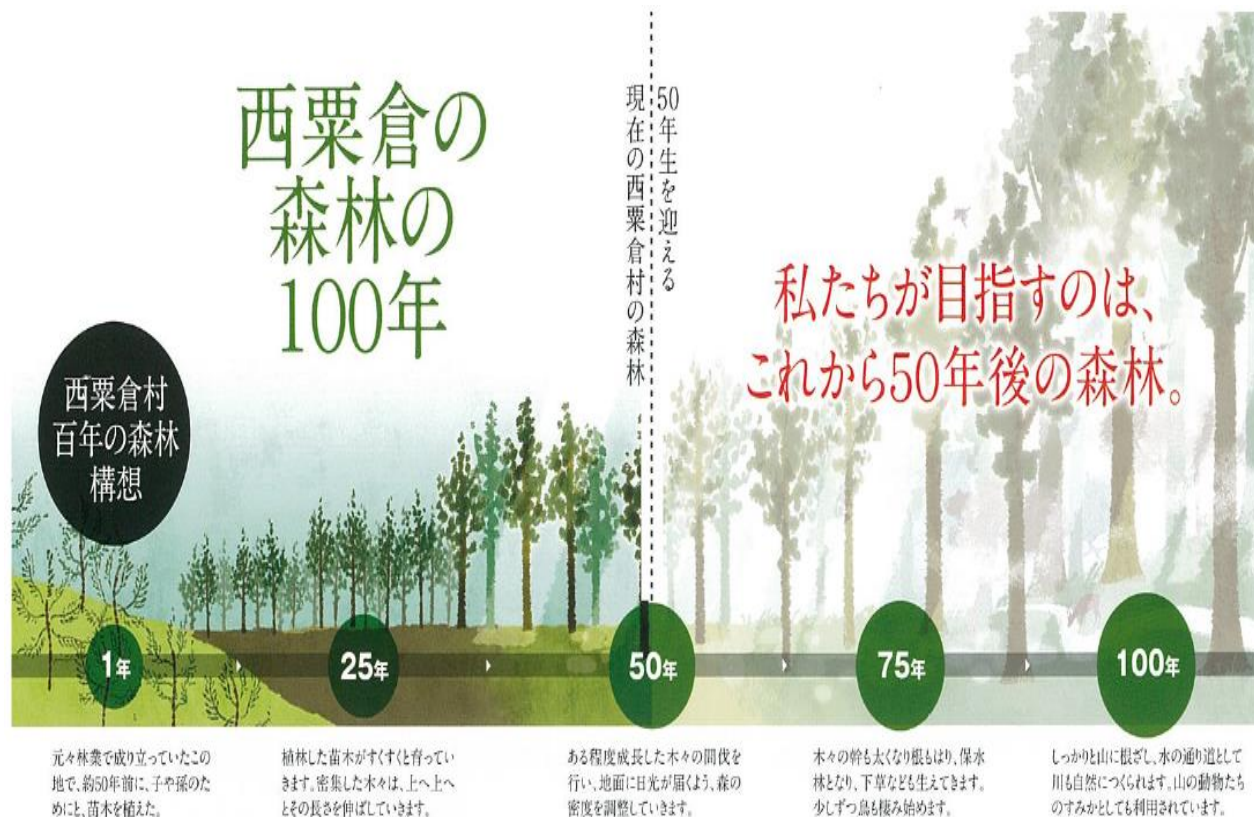
「百年の森林事業」では、地域住民と西栗倉村役場、森林組合の協働による森林保全をすすめており、西栗倉産材の直販や6次産業化、都市との連携を推進する地域商社「(株)西栗倉・森の学校」の設立など、森林保全・林業活性化における先駆的・先導的な取組を行っています。

岡山県

西栗倉村



「百年の森林構想」の目指すものとは…



「約50年生にまで育った森林の管理をここで諦めず、村ぐるみであと50年がんばろう。そして美しい百年の森林に囲まれた上質な田舎を実現していこう。」

「森林事業は心と心をつなぎ価値を生み出していく『心(しん)産業』、村の資源である森林から産業を、そして仕事を生み出していこう。」という村のビジョンです。

「百年の森林構想」から生産される美作材



西栗倉村では、「百年の森林構想」を実現するため「百年の森林事業」に取り組んでいます。その概要は次の様になっています。

- ・ **森林所有者、村、森林組合の第三者**で「長期施行管理に関する契約」を10年間締結し、村が森林を預かり、施行は森林組合が行います。
- ・ **村が策定した「森林経営計画」**に基づいて、森林所有者の負担無く、保育、造林、間伐、作業道の整備等を行います。
- ・ 木材を販売し、販売に係る手数料等を賄った後の**収益は村1/2、所有者1/2**で分配します。
- ・ 対象となる森林は自動的に**FSC (Forest Stewardship Council)** グループ認証（適切な管理がなされている森林の認証制度）に加入し、国際的にも認められた環境に配慮した管理が行われ、その費用は村が負担します。

●主な地域資源・美作材(西栗倉産スギ・ヒノキ)

西栗倉村では、年間約150haの森林が計画的に間伐され、5,000m³のスギ・ヒノキが搬出されています。この間伐材を内装材や家具、おもちゃに活用しています。また、この間伐材はFSC材とし、極めて環境志向の高い市場へのアクセスも可能にします。

ふるさと名物の内容

●美作材(西粟倉産スギ・ヒノキ)の製品群

・家具



・保育家具・遊具



・ユカハリタイル (すぎ・ひのき・コグチ・ワリバンほか8種類)



・ヒトデマキット



西粟倉村では、ユカハリタイルなど内装材を始め、家具・遊具など付加価値を高めるためブランド化を進めています。

1

「百年の森林事業」



●「百年の森林事業」への取組

- ・ 個人所有の森林を10年間、村で預かり一括管理を行なう「長期施行管理協定」を締結するとともに、「FSC認証森林の全村拡大」を併せて実施することで持続可能な森林経営に取り組んでいます。
- ・ 「西粟倉村森林管理事業特別会計」を設置し、森林所有者に費用負担を求めることなく間伐・作業路整備などの森林整備を行っています。
- ・ 村と森林組合、木材に付加価値をつけて販売する（株）西粟倉・森の学校の3者による「森林整備に関する基本合意書」を締結し、搬出される美作材の価値を高めています。

●ICTへの取組

- ・ 村・森林組合の事務負担軽減・策定計画の高度化に向けて、航空レーザー測量による森林資源の把握や森林管理及び流通支援のICT（情報通信システム）「百年の森林想像情報システム」を整備しています。

●高性能林業機械の導入支援

- ・ 林業事業者が高性能林業機械を導入する場合、事業費に対する補助率1/10以内（上限1,000千円）で補助金による支援を行っています。

2

ローカルベンチャー スクール

●森林事業を基軸とする起業への取組

- ・2015年からローカルベンチャースクールを開催し、西栗倉村で起業したい人たちの支援を行っています。

ここがスゴい！

- その1「校長先生・勝屋久さんの共感型プレゼンテーション」
- その2「人間力豊かなゲスト講師による講演」
- その3「地域おこし協力隊（起業型）事業計画の超実践的プレゼン大会」
- その4「地域内外のキーパーソンや、専門家を内容に合わせてメンターチームを形成。徹底的にサポート」
- その5「村外から移住を伴う場合は「地域おこし協力隊制度」を活用することが可能」

●新規事業創出への支援

- ・「売上を1億円又は雇用を10人以上増加させて村の経済に波及効果を及ぼすことを通じ、村内総生産の向上若しくは雇用環境の改善に貢献するという明確な意志とビジョンを持っている事業」を重点的に最大3年間で27,000千円支援します。



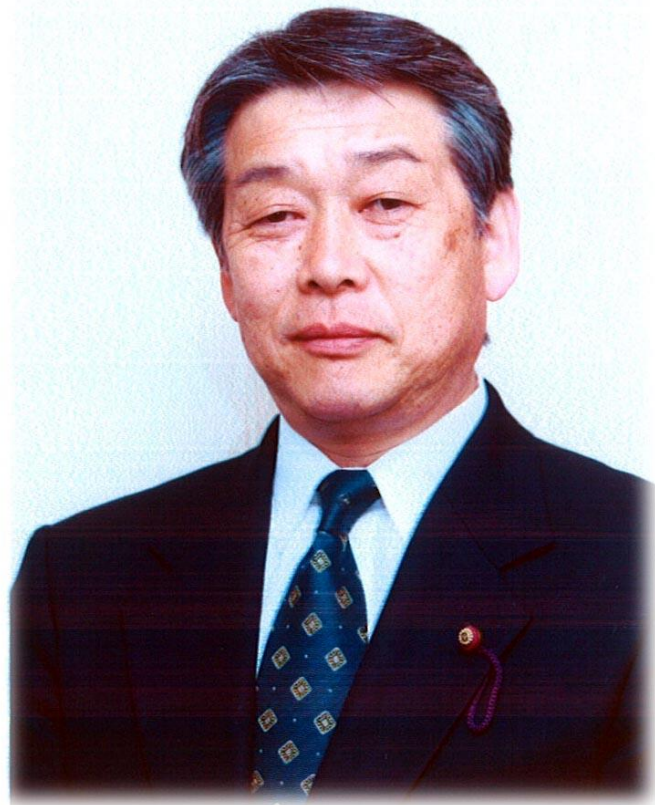
森林保全と心のつながりを大切にする「心産業」

西粟倉村は中国山地の分水嶺にある中山間地域の村です。人口は約1500人の村ですが、「平成の大合併」の中、村民の「自主自立の意思」により合併をしませんでした。

森林保全と心のつながりを大切にしながら、モノと一緒に心も届け、お互いに信頼しあえる豊かな関係性を、産業を通して作り出していきたい。村はそんな産業を「心産業」と名付け、平成20年度には「百年の森林構想」を着想しました。約50年前に植林したスギ・ヒノキの人工林を、木を植えた人々の想いを大切にして、立派な百年の森林に育て上げる。そのためあと50年あきらめずに村ぐるみで挑戦を続けています。

「百年の森林構想」にはやがて多くの若者たちが村に集まり、木材を活用した内装材、家具、おもちゃなどの起業がなされました。村では「百年の森林事業」に続き、自然エネルギーにも取り組んでおり「環境モデル都市」にも選定されています。

「心産業」から創り出される美作材の製品群をふるさと名物として応援することを宣言し、百年の美しい森林に囲まれた「上質な田舎」を目指します。



西粟倉村長 青木孝樹